



松山 篤夫 議員

目指すは世界有数の観光都市！

「観光立市」政策について

「観光立市」政策について
問 旅行者を「外国人観光客」として、「ひとくりにせず、「多様性」への対応という観点から市は観光客のマーケティング分析にもっと力を入れるべきではないか。
答 観光客の動向を的確に把握、分析し、ターゲットを絞った効果的な誘客活動に取り組みるとともに、受け入れ体制の充実に努める。
問 観光消費額の多い先進国の観光客は文化財に興味を示し、その活用が観光振興につながる。外国人観光客の観光目的と観光消費の間にミスマッチは起きていないのか。市の分析とその対応は。

答 11月には北米からの地酒ツアーの受け入れを予定している。現在、コロラド州での販売手続きもすすめており、今後も、販路拡大を図っていく。

高齢者等の「み出し支援」について

問 高齢者等に対するごみの個別収集を制度化する考えは。
答 軽度生活援助事業があるため、実施する考えはない。

「高山地方合同庁舎」建設計画について

問 建設事業費と期間は。
答 事業費は約20億円、期間は平成28年度～32年度とされている。

問 高山地方合同庁舎へ移転する施設の跡地利用についての考え方は。
答 基本的には、国が考

えるが、市のまちづくりに有益なものとなるよう、国の動向に注視していく必要があると考える。

高山ブランドの海外販路拡大策について

問 地酒の海外での販売状況と販売戦略は。



谷澤 政司 議員

下座の心で「世のため・人のために」働く

宮川緑地公園等の環境整備を

問 宮川緑地公園（七日町・桐生町）の桜120本をライトアップして、新たな観光名所に。答 ライトアップの提案は観光団体に伝えるとともに、観光客の夜間回遊性向上施策として参考にする。

問 利用者増加に向け、万人橋北側の公園路や排水路の整備を。

答 指摘箇所の排水設備内の土砂撤去工事を行う。今後も状況を見ながら改修工事を実施していく。

問 増水時に桐生町側堤防道路から住宅地側に濁り水が湧き出してくる。堤防の安全対策を。

答 所管の県土木へ確認したところ、河川巡視

により注視し堤防としての機能に著しい支障を来す恐れが認められたら対応を検討することであった。

伝建地区・下二之町大新町を核とした地域づくり

問 桐生町の越中街道筋に残る歴史的資産（史跡万人講・桐生庚申堂）の保存活用に向け、新たに文化財めぐりウォークラリーを。

答 活用について地元の団体と一緒に検討していく。

高校野球・岐阜大会で斐太高校の快挙！

問 決勝進出で、飛騨人の願いである「飛騨から甲子園」の実現が近づいた。市民に感動・勇気を



斐太高校に掲げられている横断幕

地域の課題である雪まじを、協働のまちづくりの取り組みで

問 協働のまちづくりの中で、除雪弱者である高齢者宅や障がい者宅等の雪まじを支援する仕組みづくりを。

答 雪まじを含め地域の課題に応じた活動がまちづくり協議会において展開されるよう、取り組んでいく。